



[平成16年3月、「対馬市」誕生へ]

対馬6町が合併調印

6月11日、厳原、美津島、豊玉、峰、上県、上対馬の6町の各町長による「対馬市」誕生へ向けての合併協定調印式が行われました。

調印式は、対馬6町合併協議会の委員や各町議会の議員など見守る中、6町長が合併協定書にそれぞれ署名、押印。立会人の同協議会会長や委員に引き続き、最後に特別立会人の金子知事が署名しました。

また、翌12日にはそれぞれの町議会で合併関係議案が可決され、18日に金子知事に対し、合併の申請が行われました。

平成16年3月1日の新しい「対馬市」誕生へ向け大きく前進しました。



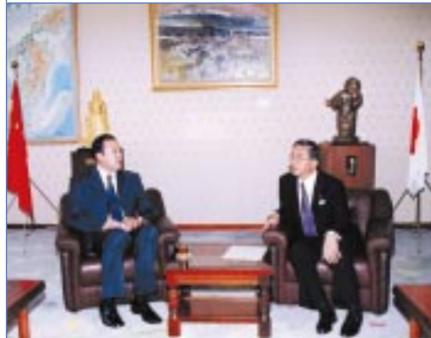
[しまの救急患者搬送]

海上自衛隊へ
知事から感謝状を贈呈

5月12日、しまの救急患者の搬送に、昼夜を問わず、積極的に協力していただいている海上自衛隊に対し、金子知事から感謝状が贈呈されました。

本県では、しまで暮らす人が全体のおよそ11%を占めており、島外の医療機関で治療を受けなければ、命に関わるような救急患者については、海上自衛隊のヘリコプターや県の防災ヘリコプターで、国立病院長崎医療センターなどに運ばれ、尊い命が救われています。

今回の感謝状は、救急搬送が、昭和33年1月に開始されてから、今年2月で3000回に達したことから贈呈されたものです。



[知事へ着任あいさつ]

駐長崎中国総領事

6月7日、中国外交部から赴任した王昆駐長崎中国総領事が、金子知事へ着任のあいさつに訪れました。

王総領事は、中国遼寧省生まれ。駐日本中国大使館、駐福岡中国総領事館の勤務経験もあり、これまで公務などで度々、本県を訪れたことがあるそうです。

「長崎は緑があって美しい街。県民も友好的で平和を愛している。時間が許す限り、県内の市町村を回りたい。今年は日中国交正常化30周年で、長崎と中国にとって意義のある年。友好のため一生懸命頑張りたい。」と日本語で抱負を述べました。



[初公開の皇帝愛用品]

故宮宮廷文物特別展開幕

今年は、日中国交正常化30周年、福建省との友好県省締結20周年の年です。長崎市内の孔子廟にある中国歴代博物館では、明、清両王朝の皇帝が愛用した品々を展示する「故宮宮廷文物特別展」が、6月3日から開催されています。展示品には、世界初公開となる北京の故宮博物院所蔵の品々も含まれ、今後2年間、常設展示されます。

中国歴代博物館 電話 095-824-4022



[これからも元気に生きる]

第13回長崎県高齢者
ふれあいスポーツ総合大会

5月23日、高齢者の健康づくりや地域どうしの交流を進めていこうと、「第13回長崎県高齢者ふれあいスポーツ総合大会」が、諫早市の総合運動公園で行われました。

大会は、一部の種目で全国大会「ねんりんピック」へ出場する選手の選考会も兼ねていて、ゲートボールやテニス、ソフトボールなどさまざまな競技で熱戦が繰り広げられました。

この日は、しまを含む県内各地から、60歳以上の方およそ1,300人が参加。最高齢は、91歳の方。皆さん一緒に楽しい汗を流していました。



[知事へ優勝報告]

日本少年少女オープン
ヨット大会優勝

5月22日、第20回文部科学大臣賞「日本少年少女オープンヨット大会」で優勝した、長崎市福田中学校の村濱沙耶さんと舩谷夏生さんが、優勝報告に金子知事を訪問しました。

この大会は、全国のジュニアヨットマンが、日ごろの練習の成果を発揮するために毎年開催され、今年は5月3日から5日の3日間、広島県の内海町で行われました。

ミニホッパー級に出場した村濱さんは、第1レース2位、第2レース1位という好成績で、OP上級者(Aクラス)に出場した舩谷さんは、第1レースも、第2レースも1位と他をよせつけない強さで、優勝しました。

県内からは、16人が出場し、2人を含めて9人が入賞しています。県内からの将来のオリンピック選手に、期待がふくらみます。



[長崎大水害から20年]

県の総合防災訓練

5月22日、梅雨入り前に、防災に関する機関の協力を強め、県民の防災意識を高めようと、県の総合防災訓練が長崎市内の長崎漁港埋立地で行われました。

毎年行われるこの訓練は、今年で43回目。長崎大水害から20年となる今年の訓練には、警察や消防、自衛隊など、見学者を含めて、およそ2,500人が参加しました。

大雨や洪水、地震などに対する訓練に加えて、昨年アメリカで起きた同時多発テロを受けた「生物・化学剤災害事故対応訓練」も行われ、参加者はもしもの時のために、真剣な表情で訓練に取り組んでいました。



[日中国交正常化30周年を記念]

中国・九州友好文化観光
交流フェアin長崎開催

5月15日から18日までの4日間、日中国交正常化30周年を記念して「中国・九州友好文化観光交流フェアin長崎」が、JR長崎駅かめ広場で開催されました。

東京、大阪の記念式典に続き、九州で唯一開催されたこの交流フェア。本県へは、福建省や、上海市、雲南省などから代表団755人が来県し、民族音楽などが披露されました。また、会場では、中国の写真パネルの展示や、観光などの情報提供が行われ、多くの人で賑わいました。